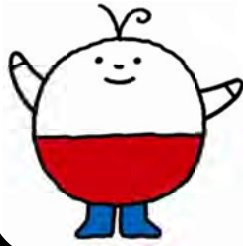


2012年
3月 No.353

SINCE 1977

発行所/〒380-0813 長野市緑町1714-5
長野市ボランティアセンター内
Tel:026-227-3707 Fax:026-224-1513
URL <http://vnetnagano.or.jp>
E-mail:volucen@vnetnagano.or.jp

Spring has come!



ボランティア かわらばん

編集
発行

ながのボランティアかわらばん編集委員会

東日本大震災・長野県北部地震

私にできること
みんなでできること
これからも・・・

2011年3月11日午後2時46分、マグニチュード9.0の巨大地震。そしてその後の大津波が東北・関東を襲いました。


翌12日午前3時59分、今度は長野県栄村でも、大きな揺れがありました。

さらに、福島では原子力発電所の事故による被害も。

あれから1年が経とうとしています。昨年4月号のかわらばんの表紙には、「これから被災者とともに、復興に向けて、みんなで何ができるかを考え行動する」とあります。そして、“長野市災害ボランティア委員会”が立ち上がりました。

委員会だけでなく、個人で、企業で、ボランティアグループで、さまざまな活動が生まれ、多くの人が被災地へ行きました。また、被災地に行くことはできなくても、長野市内で活動をした人たちも大勢います。

私たちは考え、気づき、行動しながらこの1年を過ごしてきました。しかし、被災地復興への道のりは遠く、私たちはまだまだ考え続けていくことになります。

 みんながネットワーク

このかわらばんは信販センターのご好意で
一部の地域へボランティアで配布していただいています。

「ボランティアかわらばん」は共同募金の協力で発行しています。

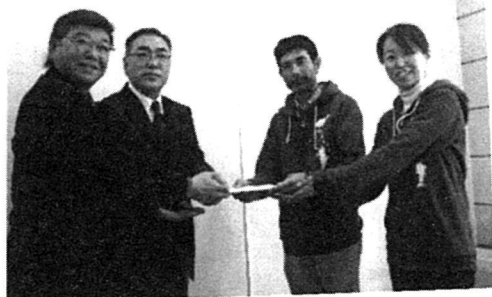
みなさんとともに!



継続中

鯡Tシャツプロジェクト

Tシャツを販売し、売り上げの一部を部活動支援費として、岩手県大槌町の中学校に寄付。
 まず第一弾として、1月29日(日)・30日(月)、大榎中学校・吉里吉里中学校へ、支援金計120万円をお届けしました。



大榎中学校・吉里吉里中学校の校長先生と

準備中

ねこ・布ぞうり講習会 & りんごをお届け

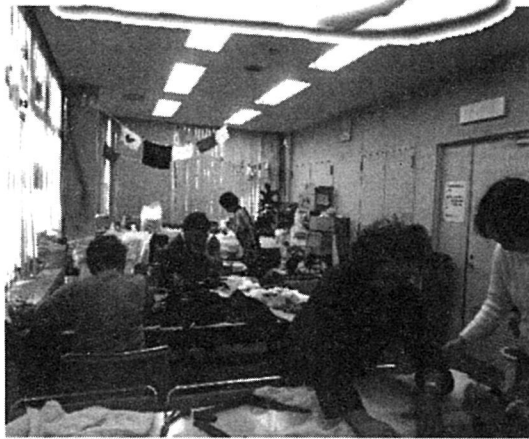
3月7日(水)～9日(金)、大榎町の公民館で、ねこ(※)と布ぞうりの講習会を開催します。同時に、りんごを仮設住宅のみなさんにお届けします。

終了

あったかプロジェクト

冷え込む季節です。みなさまに提供していただいた暖房器具を、長野市内に避難されている希望者の方々にお渡ししました。

急ピッチで作業中です！ 猫の手も借りたこととはこのこと？



(*) ねこ・南木曾に古くから伝わる防寒着で、はんてんの袖がないもので、背中があったかい

これからも大槌町の

岩手県 = 災害ホラが応援している 大槌町ってどんなところ？



おひなさまプロジェクト

全国の人形店の協力を得て、長野市の人形店が寄付してくださったおひなさまを、被災地の希望者へ配送しました。次々と、「届きました！」という喜びの声が多数寄せられています。

この中におひなさまが...



→ ボランティアの手によって梱包され、大槌町まで運ばれました。今頃はそれぞれのおうちに飾られていることでしょう

3.11地震のあと川に沿って津波がやってきました! R45から海側には津波と火災で人口15000人の1割が死亡・行方不明となりました... 点線の大槌駅や線路、役場、地元の雇用を支える魚市場、加工場が被害に... たけど、明るく、そして必死に生きている人達がここにいます!

継続中

はんどめいとプロジェクト 福ゾウくんプロジェクト

大槌町の仮設小学校に本を贈るための資金作りとして、ハンドメイド小物を販売しています。第一弾! 好評販売中!! (くるみボタンアクセサリー、巾着など) 次回は3月8日(木)13:30。詳細については、事務局受付または、ブログをご覧ください。
<http://handmade.jp>
naganoblog.jp



→ パッケージにもこだわっています

↑ 若い人からちよっぴり先輩まで、女性ばかりが集まりました。楽しく和気あいあいで作業は進みます

震災から1年 今思うこと

私

が被災地でできた事は、本当にわずかなもので、自己満足を感じただけのものかもしれない。しかし、日本全国から集まったみんなが、わずかず成果を残し、自己満足する。その積み重ねが、確実に復興へつながっていると思います。現地で、長野で、いろんな支援のしかたがあると思います。行動を起こせてよかったと思います。いちボランティア



大槌町の伝統芸能「鹿舞」

6

月頃に被災地で活動しました。だが、被災した方たちが淡々と日々の暮らしを送っているのを見て、人間の強さを感じました。

苦難をのりこえる力というのは本当は静かな力なのかな。

匿名

ボ

ランティアは人のためではなく、自分自身のためだとつくづく思いました。

年金生活者(67歳)

何

かしたいと思いつながら何もできないより、とにかくやること、動くことが大切。

匿名(30代)

ボランティア活動から何を学ぶか、被災地支援をしながら、何を想うか。それはきっと人それぞれ。

そこから見えてきた課題や必要とされることは、私たちの普段の暮らしにも密接に結びついていることではないでしょうか。

災害時の対応には、平時(日常)の取り組みが生きてくる。

震災から1年。改めて考えることも多いと思います。

そこで、今回の震災支援に関わったみなさんに、気づいたこと、感じたことなど、メッセージを寄せてもらいました。

現

地に行つて、「かわいそう」と思わないことにした。遠慮するのも違うと思った。

被災地だからではない。自分たちと一緒に、変らないんだ。

メディアには特別扱いしてほしいと思わないと思った。(20代)

新

しいことを教えていただきたい。お役に立つことができた。3・11に何か関わらなければとあせりのようなものがあったのが消えて行くようです。

長く続けなければと思います。

ZUZU(70代)

被

被災地の子どもたちはもちろんだけど、自分の子ども、その周りの子どもたち、みんな幸せであってほしい。そのためには自分が何をしなければいけないのか、考え続けた1年でした。

この先の長い道のり、共に歩む1人でありたいと思っています。(40代)

震

災を通じて、より生命、普段の何げない日常の大切さを思い知りました。

無縁社会と言われています

が、人間は交流を求め、温かさを求める生き物だと感じました。

匿名

色

を失ったまちの中で水仙の花のつぼみを見つけ、その喜びをカメラに収めようとした瞬間、とまどいを感じました。

被災地では笑うことを控えたほうがいいのでは・・・。

いや、どんな時でも楽しかったら笑っていいはず。

この違和感は何だろうと考えました。被災地はかわいそう、自分はそのではない。そんな意識がどこかにあった気がします。しかし、被災地の現場で仕事をし、住民と言葉を交わす中で、「たとえ被災地であっても、私たちは生活者として同じ目線で物事を見る姿勢は、ぶれてはいけない」と感じました。

被災地だから、被災者だから、障がい者だから、高齢者だからではなく、人として暮らしていく視点に立って支援を考えなければいけないのでは・・・。

被災地支援を通して改めて考えさせられました。

被災地だけではありません。私たちの生活に目を向けた時、地域へ、学校のクラスへ目を向けた時、そこには同じ生活者の目線で支援できることがあるのではないのでしょうか。

ほどほど(40代)

・・・そして、あなたは今、どんな風に感じていますか？

ボラセンだよ!



客席から舞台を見守るみなさん

アコーデオンを抱えて施設を慰問する人がいます。その映像をインターネットで公開すると、「お元気な姿を拝見し、故郷を懐かしく思

★あなたも

街のディレクター★

映像を通して地域の暮らしをみつめ、豊かな地域を創る住民ディレクター。ボランティアアセンタ―は、その育成に努めてきました。今年、初めて住民ディレクターのみなさんが一同に会するお祭りを開催しました。実際に住民ディレクターとして活躍している荻野正明さんに、その様子をレポートしてもらいました。

映蔵だよ! 全員集合

レポート

改めて自分たちの映像を見て笑う小学生たち。会場は笑いに包まれます

2012年2月18日(土)・19日(日)



あなたとわたしの2日間



出しました」との電話。街のディレクターが喜びを感じるのもこんな時

2月19日(日)長野市立長野高校の翼ホールで「映蔵だよ!全員集合」というイベントが開かれ、街のディレクターが一堂に会しました。ホールは階段式、照明や音声などの設備も整い、副調整室もあります。参加者にとっては晴れ舞台です。

綿内小学校、市立長野高校、清泉女学院大学、長野大学等の他、地域住民のグループも参加しました。当日は、市立長野高校の生徒6人が登壇し、4本の作品を上映、各々

後半のシンポジウム。それぞれが想いを語りました。最後は「住民ディレクターとは?」の間に答えました



が制作意図等を説明しました。その他、小学生からお年寄りまで、自慢の作品が上映され、制作談義に花が咲き時折笑い声も...

若槻の田中愛子さんは「地域の伝統行事を取材しました。地域に伝わる文化を、子どもや将来の人々に引き継いでもらいたい」と、熱っぽく語っていました。

住民ディレクターの活動は、皆が先生、皆が生徒です。お金をかける必要ありません。

自分ができる事をできる時にやればいいのです。仕事ではありません。商売とは無縁です。優劣を競うものでもありません。あなたもディレクターになれます。

荻野正明

いつもくんといっしょ 「禅さんのコーヒー」

かわらばん2月号で村瀬禅さんのコーヒーボランティアを紹介したよね! 予告どおり、2月7日(火)にボランティアアセンタ―丸テールブルで禅さんにコーヒーを淹れてもらったんだ。

コーヒーを飲みたい人、おしゃべりがしたい人、活動のついでに顔を出した人... などなど、和気あいあいの居場所になったよ。ぼくもみなさんと一緒にコーヒーを飲みながらおしゃべり。とっても楽しかった。禅さんも会話に入ると、しばし、男性ばかりのおしゃべりタイムも繰り広げられたんだ! みんなまた来たいって言ってたよ。

次回をお楽しみに! 詳細はボランティアアセンタ―に問い合わせせてね。



名づけてオヤジたちのティータイム?!



ボランティアかわらばん 4月号は3月30日(金)発行予定。
記事掲載希望は3月15日(木)までに原稿をお寄せ下さい。

情報かわらばん

お知らせ

ぶれジョブってなあに？学習会 in 長野市

「ぶれジョブ」がどんな活動なのか、一年前にぶれジョブを始めた須坂ぶれジョブ推進会議副会長、田幸康宏先生（須坂日滝小学校）をお呼びして、学習会を開催します。

支援を必要とするお子さんがいる方、子どもとの関わりに興味のある方、街づくりに興味のある方、ボランティアに興味のある方、いっしょに勉強してみませんか。

日時：3月27日(火)13:00～15:00

場所：長野県障害者福祉センター サンアップル201号室

講師：田幸康宏さん

対象：興味のある方どなたでも

参加費：300円（資料代）

問：長野市ぶれジョブを考える会（花石）

TEL：090-9357-8976/FAX：026-283-8929

HP：<http://naganoprejob.naganoblog.jp/>

ダウン症ドラマーの物語「タケオ」の上映

2012年より、3月21日が「世界ダウン症の日」と国連に認定されたことを記念して、ドキュメンタリー映画が上映されます。
日時：3月17日(土)～30日(金) ※上映時間は映画館へお問い合わせ下さい。

場所：長野松竹相生座・ロキシー

問：こもれびの会（小島）

TEL：026-237-1088

e-mail：iviedgables@yahoo.co.jp



「アイウィル学習室」参加者募集

中高生対象の自習型指導教室です。1回500円で利用でき、常駐の講師に何度でも質問OKです。教科書や問題集など、好きな教材を持参して、思う存分勉強してください。

リサイクル参考書の販売もしています。（1冊100円）不要になった問題集や参考書を譲ってください。

日時：毎月第2・4土曜日13:00～18:00（入退場自由）

参加費：1回500円

問：NPO法人 プロ家庭教師のネットワーク

アイウィル（上垣）

TEL：026-264-2070

FAX：026-264-2657

HP：<http://iwill.yu-yake.com/>



エコ得！講座

「安心して安全なエネルギーの話」

身の回りの自然を生かした安心して安全なエネルギーとは？今日から始められる省エネやエコドライブについて、お話しいたできます。

日時：3月6日(火)13:30～15:30

場所：かがやきひろば松代（松代保健福祉センター内）

講師：水上則男さん（NPO法人 CO2バンク推進機構）

対象：長野市在住の方 45人

参加費：無料

問：かがやきひろば松代（小宮山・北澤）

TEL/FAX：026-278-0050

ご寄付ありがとうございました！

ハガキ、切手、テレフォンカード、ベルマーク等
1月21日～2月20日分

テルウェル長野支店 宮川岸子 竹之内優男 松下信彦
鈴木会計事務所 ハーモニー桃の郷 榎前田鉄工所
かがやきひろば松代 匿名（敬称略）

有効に活用させていただきます





tsubu tsubu

特派員のつぶやき

現場状況 2月分 (1月16日～2月15日)

相談件数

ボランティアしたい	29件
ボランティア求む	21件
情報求む	47件
ボランティア活動支援	7件
ボランティア活動上の悩み	2件
よろず相談・悩みごと	3件
ボランティア保険・事故処理	11件
その他	12件
合計	132件

お正月休みは子どもとスキー場。回数券片手にリフトの列に並ぶと係の男性が「たくさん遊んでね」と券にハサミは入れずリフトに乗せていただいた。今どき珍しい計らいにこちらが気恥ずかしい。運動不足解消の散歩に出かけた久しぶりの権堂商店街は、記憶のアーケード街とは随分と趣も変わり、若者向けの飲食店や国際色豊かな看板の文字に視線がきよろきよろ。日中なので高齢者の姿も目立ち、アーケードから路地に入ると、さながら喫茶兼スナックといった感じの店で、「失礼します」と白髪の男性客を見送る上品な年配の女店主の姿が目にとまった。人が行き交う街角の姿は昔と変わらず、今なお権堂には「界限」という言葉が似合います。散歩の帰り際、アーケードのお団子屋さんに立ち寄ると「お嬢ちゃんに」とおまけの串団子を一本。それは素直にいただいて帰りました。

情報かわらばん

募集

長野オリンピック記念長野マラソン大会 (視覚障がい者の部) ボランティア募集

長野マラソン大会では、一昨年の大会から「視覚障がい者の部」を設け、全国から25人の視覚障がい者ランナーを迎えました。

昨年の大会には、35人の選手がエントリーしてくださいましたが、東日本大震災の影響で大会中止となってしまいました。今年の大会にも30人を超えるランナーが参加します。地元のみさんのボランティアで、大会を支えましょう！

日時：4月15日(日)8:00~15:00頃
場所：長野運動公園~長野オリンピックスタジアム
内容：①伴走者の輸送 スタート地点から中継地点、中継地点からゴール地点までの伴走者の輸送
②伴走中継点の運営 伴走者交代の案内

問：長野県視覚障がい者マラソン協会(浜)
TEL/FAX：0266-28-6963
e-mail：hamachan6963@zf7.so-net.ne.jp

イベント

健康を考える交流会

健康、経済を意識して、みんなで話し合しましょう。

日時：3月10日(土)13:30~15:30
場所：長野市ふれあい福祉センター4階
定員：20人
参加費：300円(お茶代として)

問：健康な未来を考えるSowing.net(高遠)
TEL：026-227-6769/FAX：026-227-6919
e-mail：e-moco@mx2.avis.ne.jp
HP：http://sowing-net.digi2.jp

地域ささえ合い体制づくり事業 あるがまま自分らしく生きる地域社会へ 失語症フォーラムin長野

長野失語症友の会は「地域ささえ合い体制づくり事業」のもと、3回の「失語症コミュニケーション講座」と、「失語症フォーラムin長野」を開催します。

地域の中で失語症の正しい理解と適切な支援を願い、障害者も健常者も共に支え手となって生活できる、そんな地域をめざしています。

日時：3月17日(土)12:30~16:30
場所：長野県障害者福祉センター サンアップル ホール
対象者：患者・家族・医療関係・行政関係・学生・一般・地域福祉関係

参加費：無料
問：長野失語症友の会(土屋)
TEL/FAX：026-241-0410
e-mail：mioko@mbr.nifty.com



第13回長野市マジック愛好会発表会 みんなで楽しむマジックショー

長野市若穂出身のプロマジシャンの和田奈月マジックショーや、オープニングに川中島陣太鼓と裾花小学校ポプラマーチングバンドの演奏もあります。

日時：4月1日(日)12:00開場 12:45開演
場所：長野市若里市民文化ホール
定員：600人
参加費：無料
問：長野市マジック愛好会(関口)
TEL：026-248-1980



講座

かがやきひろば松代の講座

①好評につき2回目 初めてのスマートフォン講座

話題のスマートフォンに触れて、使ってみませんか？基本からゆっくり学べます。スマートフォンがなくても大丈夫！筆記用具をお持ちください。

日時：3月16日(金)13:30~15:30
場所：かがやきひろば松代(松代保健福祉センター内)
講師：吉村彰博氏(N T T ドコモ長野支店)
対象者：長野市在住 60才以上の方
参加費：無料
申し込み：3月6日(火)~9日(金)9:00~16:00
かがやきひろば松代へ直接お申し込みください

②男の物作り講座

男性限定のDIY講座です。松代焼きの体験やそば打ち、現役棟梁の指導で、ベンチとテーブルのセットも作ります。

日時：5月10日(木)~11月22日(木)までの第2・第4木曜日
13:30~15:30
場所：かがやきひろば松代(松代保健福祉センター内)
講師：柳沢康信さん 他
対象者：長野市在住 60才以上の男性 15人
受講料：1,200円(材料費15,000円程度が別途かかります)
申し込み：4月2日(月)~9日(月)9:00~16:00

③買い換える前に知っておきたい！ パソコンの話

パソコンの新規購入や、買い替えを考えているみなさん向けに、現役パソコン講師が、ズバリ、みなさんの悩みにお答えします。OSのバージョンの違い、マウスや印刷機などのPC周辺機器のことなど、何でも聞いてみましょう！

日時：3月9日(金)13:30~15:30
場所：かがやきひろば松代(松代保健福祉センター内)
講師：山本美代子さん
対象者：長野市在住 60才以上の方 15人
参加費：無料
持ち物：筆記用具、ノートパソコン(お持ちの方)
申し込み：3月6日(火)、7日(水)9:00~16:00
問：かがやきひろば松代(小宮山・北澤)
TEL/FAX：026-278-0050

2012年

3月

ボランティア かわらばん



ボランティア情報誌

発行所/〒380-0813 長野市緑町1714-5 長野市ボランティアセンター内

Tel : 026-227-3707 Fax : 026-224-1513

URL <http://vnetnagano.or.jp> E-mail: volucen@vnetnagano.or.jp



まちの縁側楽会



会場が縁側の町になる!

まちの縁側めぐり 1丁目1番地



ヒトとヒトが出会い、ふれあい、楽しみやおいしい食べ物がある、
ゆるやかにつながり合う安心居場所の「まちの縁側」
縁側を自ら開いている皆さんが集まって、縁側の町を再現します。



◎とき：3月25日(日) 12時～16時30分



◎会場：柳町老人福祉センター(かがやきひろば柳町)

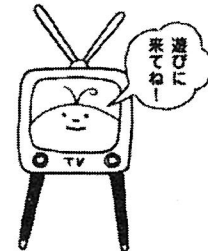


内容

縁側の心がわかる「げんとーく」
NPO法人まちの縁側育み隊代表の
延藤安弘さんによるスライドと語りです。

縁側めぐり

見る、知る、食べる、奏でる、語る、あつたまる…
色々な縁側が出現します。
縁側を思う存分体感しましょう。



震災は「ひとごと」じゃない

東日本大震災から一年がたちます。被災地の様子をみまじ知ることから、私たちができること、学べることは? 写真家の大西暢夫さんと一緒に考えてみましょう。

日時：3月17日(土) 13:30～16:30

場所：ふれあい福祉センター5階ホール

内容：・東北沿岸600キロの震災報告 スライドとお話
・ボランティアについて大西さんと一緒に話そう
・和太鼓奏者、佐藤健作さんの演奏もあり!

参加費：500円(資料代含む)

問：長野市ボランティアセンター

TEL：026-227-3707/FAX：026-224-1513

アドベンチャー広場

冬の遊びフェスティバル in 長野

子どもは遊びの名人! 忍者ショーや忍者体験、ダンボールクラフトなど、いろいろな体験や遊びに挑戦しよう。

日時：3月10日(土) 10:30～15:30

場所：もんぜんぶら座地下 プラザホール

参加費：無料

問：こども・子育て情報いちば in 長野運営委員会
(NPO法人 ながのこどもの城いきいきプロジェクト)
(小笠原・伊藤)

TEL/FAX：026-225-5467